

記者発表
北陸地方整備局 湯沢砂防事務所 長野県 栄村

発表日時
平成26年10月30日 配布を以て解禁

## 「大規模土砂災害を想定した合同防災訓練」を実施します

### ～湯沢砂防事務所管内で初めての取り組み～

国土交通省湯沢砂防事務所・長野県・栄村は、大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施します。

本訓練は、豪雨を誘因とした大規模土砂崩落の発生と天然ダムの形成、および複数の土砂災害が発生したことを想定し、国・県・地元自治体の各機関が土砂災害防止法等に基づくそれぞれの対応を確認し、課題の把握と今後の危機管理対応能力の向上を図ることを目的に実施します。

河道閉塞などの大規模土砂災害を想定した、県、地元自治体との合同訓練は、湯沢砂防事務所管内では初めての取り組みとなります。

訓練は「学習型」で行います。「学習型訓練」は、災害シナリオに沿って質疑応答していくため、各機関の災害対応等の流れが、わかりやすいのが特徴です。

### 記

- 1 . 日 時： 平成26年11月5日（水） 13：30 ～ 17：00
- 2 . 開催場所： 栄村役場1階 多目的ホール
- 3 . 参加団体： 国土交通省北陸地方整備局 湯沢砂防事務所  
長野県（建設部砂防課、北信地方事務所、北信建設事務所）  
栄村
- 4 . 訓練概要： 別紙資料参照
- 5 . その他

訓練は公開で行います。

会場内に記者席を用意しております。

訓練に関する資料は、当日会場でお渡しします。

以上

#### 【お問合せ先】

国土交通省 湯沢砂防事務所 副所長（技） 関 敏文（内204）  
調査課長 平田 遼（内351）

TEL：025-784-2263（代） FAX：025-784-1729

# 学習型訓練について

## 1 学習型訓練とは

ファシリテーター（司会進行者）が災害シナリオに沿って質問を投げかけ、訓練参加者に回答を求める質疑応答型の訓練である。

### ロールプレイング（RP）訓練との違い

- ・司会進行者の状況説明（シナリオ進行）を聞くことによって参加者全員が災害対応行動等の流れを共有・理解できる  
→シナリオが見えないRP訓練では、参加者の経験値によって理解度が異なる
- ・各機関の回答を全員が同時に聞くことによって、他機関がどのような対応をしているのか理解できる  
→機関ごとにブースで区切られ、自らの対応行動に追われるため、RP訓練では、他機関の動きが分からない
- ・時間軸にとらわれないため、場面を区切った訓練ができ、その都度、補足や解説を行うことにより理解度を向上できる  
→時間軸に沿って進行するRP訓練では、開始してから終了するまで一連の進行を中断することができない



司会進行者が災害状況(シナリオ)を説明しながら訓練参加者に質問



指名された機関が状況を踏まえて対応すべき行動を口頭で回答

## 2 学習型訓練の進行方法

### ■ 基本的な進行

「司会進行者」と「訓練参加者」にわかれ、想定した災害シナリオに則して状況付与を行った上で、「司会進行者」は「訓練参加機関」に、その対応について様々な「質問」をし、「訓練参加機関」は「回答」（相談しても良いが時間的余裕は与えない）する形式で進行する。このように、逐次対応する形で行うので、実時刻に基づいた進行とはならない。



### ■ 司会進行者の役割

「司会進行者」は、場面に応じて他機関への質問や、各ステージの最後に内容の総括を行う。

